

## 温室効果ガス排出削減目標で SBT 認定を取得 FLAG 関連排出目標は国内初の認定



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

サッポロホールディングス（株）は、サッポログループが掲げる 2030 年に向けた温室効果ガス排出削減目標が「地球の気温上昇を産業革命前と比べて 1.5 °C に抑える」というパリ協定が定める温室効果ガス排出削減目標と科学的に整合した目標であるとして、国際的なイニシアチブである「SBTi (Science Based Targets Initiative)」(注 1) から 3 月 1 日付で SBT の認定を取得しました。

### SBT 認定された温室効果ガス排出削減目標

- ・スコープ 1,2 : 2030 年▲42% (2022 年度比)
- ・スコープ 3 : 2030 年▲25% (2022 年度比)
- ・FLAG スコープ 1,3 : 2030 年▲31% (2022 年度比)

今回 SBT 認定を取得した目標は、当社の 2030 年のグループ全体の温室効果ガス排出量スコープ 1, 2, 3 と FLAG スコープ 1, 3 を対象としています。原料農産物などの土地利用における温室効果ガス排出を示す FLAG 関連排出 (注 2) に対する目標について国内の企業で認定を取得したのは、当社が初めてとなります。

サッポログループは「サッポログループ環境ビジョン 2050」(注 3) を策定し、2050 年の温室効果ガス排出量のネットゼロを目指しています。今後もグループ全体で省エネルギーを徹底するとともに太陽光発電設備などの再生可能エネルギー導入拡大を進め、また原料農産物の農業における温室効果ガス排出削減においてもサプライヤーと協働して取り組んでいきます。

サッポログループは、今後も皆さまから信頼される企業であり続けるため、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。

(注 1) SBTi は、2015 年に CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金) によって共同設立された国際的なイニシアチブであり、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標が、科学的根拠に基づいて世界の気温上昇を 1.5°C 未満に抑えるための目標となっているかを検証し、基準を満たす目標に対して認定を行っています。

(注 2) FLAG (Forest, Land and Agriculture) は、農業や林業、その他土地利用に関連するセクターのことであり、FLAG 関連排出とは、これらのセクターにおける非エネルギー起源の温室効果ガスを示す。

(注 3) サッポログループ環境ビジョン 2050 <https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=9099>

<参考>サステナビリティ重点課題 <https://www.sapporoholdings.jp/sustainability/policy/systems/>

以上